

「奨学金返済支援」に関するアンケート
(企業向け)
主な設問のクロス集計表

2018年9月

「北海道で働こう応援会議」事務局

Q2①奨学金を返済している社員がいるか

単位(%)

属性		サンプル数	いる	いない	わからない	無回答
全体		367	22.1	43.9	33.0	1.1
本社所在地別	札幌市	159	22.0	39.0	36.5	2.5
	札幌市を除く石狩	15	20.0	26.7	53.3	-
	後志・空知	23	21.7	47.8	30.4	-
	胆振・日高	33	27.3	45.5	27.3	-
	道南(渡島・桧山)	18	22.2	50.0	27.8	-
	道北(上川・留萌・宗谷)	43	11.6	55.8	32.6	-
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	58	24.1	60.3	15.5	-
	道外	18	33.3	5.6	61.1	-
	(再掲)札幌市を除く道央	71	23.9	42.3	33.8	-
業種別(大分類)	製造業	107	15.9	46.7	37.4	-
	建設業	116	18.1	56.9	24.1	0.9
	卸小売業	26	23.1	42.3	34.6	-
	運輸倉庫業	5	-	40.0	60.0	-
	情報通信業(IT関連を含む)	49	24.5	12.2	57.1	6.1
	情報通信業以外のサービス業	32	25.0	50.0	25.0	-
	金融・保険業	18	72.2	11.1	16.7	-
	上記以外・その他	14	28.6	57.1	14.3	-
従業員数別	1~29人	120	9.2	77.5	12.5	0.8
	30~49人	70	14.3	51.4	32.9	1.4
	50~99人	81	30.9	28.4	39.5	1.2
	100~500人	73	39.7	8.2	50.7	1.4
	500人以上	23	26.1	13.0	60.9	-

Q2①奨学金を返済している社員がいるか

単位(%)

属性		サンプル数	いる	いない	わからない	無回答
所属団体別	北海道商工会議所連合会	19	31.6	47.4	21.1	-
	札幌商工会議所	73	20.5	50.7	28.8	-
	北海道中小企業家同友会	30	43.3	20.0	36.7	-
	北海道建設業協会	81	17.3	60.5	22.2	-
	北海道機械工業会	104	12.5	51.0	35.6	1.0
	北海道IT推進協会	43	16.3	14.0	62.8	7.0
	北海道信用金庫協会	17	76.5	5.9	17.6	-
人出不足の状況	不足している	247	20.2	44.1	34.4	1.2
	現状で良い	94	26.6	43.6	29.8	-
	余剰がある	2	-	100.0	-	-
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	34	23.5	41.2	35.3	-
	活用を検討したい	111	27.0	48.6	24.3	-
	あまり活用したくない	18	16.7	55.6	27.8	-
	活用しない	20	10.0	70.0	20.0	-
	どちらとも言えない	176	21.0	38.1	40.3	0.6
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	7	14.3	57.1	28.6	-
	検討したい	116	25.0	42.2	32.8	-
	難しいと思う	98	18.4	49.0	32.7	-
	分からない	119	21.8	42.0	35.3	0.8
	その他	11	27.3	54.5	18.2	-

Q2⑥奨学金返済は社員にとって負担になっているか

単位(%)

属性		サンプル数	かなり負担になっていると思う	多少負担になっていると思う	あまり負担になっていないと思う	負担になっていないと思う	どちらとも言えない	分からない	無回答	再掲負担になっている
全体		81	43.2	45.7	-	1.2	4.9	3.7	1.2	88.9
本社所在地別	札幌市	35	45.7	42.9	-	2.9	5.7	-	2.9	88.6
	札幌市を除く石狩	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	100.0
	後志・空知	5	40.0	60.0	-	-	-	-	-	100.0
	胆振・日高	9	44.4	55.6	-	-	-	-	-	100.0
	道南(渡島・桧山)	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	75.0
	道北(上川・留萌・宗谷)	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	100.0
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	14	21.4	64.3	-	-	7.1	7.1	-	85.7
	道外	6	50.0	16.7	-	-	-	33.3	-	66.7
	(再掲)札幌市を除く道央	17	47.1	52.9	-	-	-	-	-	100.0
業種別(大分類)	製造業	17	58.8	35.3	-	-	-	5.9	-	94.1
	建設業	21	42.9	52.4	-	4.8	-	-	-	95.3
	卸小売業	6	83.3	-	-	-	-	16.7	-	83.3
	運輸倉庫業	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	情報通信業(IT関連を含む)	12	41.7	58.3	-	-	-	-	-	100.0
	情報通信業以外のサービス業	8	37.5	-	-	-	50.0	-	12.5	37.5
	金融・保険業	13	7.7	84.6	-	-	-	7.7	-	92.3
	上記以外・その他	4	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0
従業員数別	1~29人	11	36.4	54.5	-	-	9.1	-	-	90.9
	30~49人	10	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0
	50~99人	25	56.0	32.0	-	-	12.0	-	-	88.0
	100~500人	29	37.9	51.7	-	3.4	-	3.4	3.4	89.6
	500人以上	6	16.7	50.0	-	-	-	33.3	-	66.7

Q2⑥奨学金返済は社員にとって負担になっているか

単位(%)

属性	サンプル数	かなり負担になっていると思う	多少負担になっていると思う	あまり負担になっていないと思う	負担になっていないと思う	どちらとも言えない	分からない	無回答	再掲負担になっている	
所属団体別	北海道商工会議所連合会	6	50.0	33.3	-	-	16.7	-	-	83.3
	札幌商工会議所	15	53.3	26.7	-	6.7	6.7	-	6.7	80.0
	北海道中小企業家同友会	13	53.8	30.8	-	-	15.4	-	-	84.6
	北海道建設業協会	14	35.7	64.3	-	-	-	-	-	100.0
	北海道機械工業会	13	53.8	30.8	-	-	-	15.4	-	84.6
	北海道IT推進協会	7	57.1	42.9	-	-	-	-	-	100.0
	北海道信用金庫協会	13	7.7	84.6	-	-	-	7.7	-	92.3
人出不足の状況	不足している	50	46.0	48.0	-	2.0	2.0	-	2.0	94.0
	現状で良い	25	40.0	44.0	-	-	8.0	8.0	-	84.0
	余剰がある	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	8	62.5	37.5	-	-	-	-	-	100.0
	活用を検討したい	30	56.7	43.3	-	-	-	-	-	100.0
	あまり活用したくない	3	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	活用しない	2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	どちらとも言えない	37	24.3	56.8	-	2.7	8.1	8.1	-	81.1
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	検討したい	29	48.3	41.4	-	-	6.9	3.4	-	89.7
	難しいと思う	18	50.0	44.4	-	-	-	-	5.6	94.4
	分からない	26	38.5	50.0	-	3.8	3.8	3.8	-	88.5
	その他	3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	66.7

Q2⑦奨学金返済が社会問題になっているという認識があるか

単位(%)

属性		サンプル数	ある	多少ある	あまりない	ない	分からない	無回答	再掲ある
全体		81	58.0	28.4	7.4	1.2	2.5	2.5	86.4
本社所在地別	札幌市	35	51.4	28.6	8.6	2.9	2.9	5.7	80.0
	札幌市を除く石狩	3	33.3	66.7	-	-	-	-	100.0
	後志・空知	5	20.0	80.0	-	-	-	-	100.0
	胆振・日高	9	77.8	22.2	-	-	-	-	100.0
	道南(渡島・桧山)	4	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
	道北(上川・留萌・宗谷)	5	60.0	40.0	-	-	-	-	100.0
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	14	78.6	7.1	14.3	-	-	-	85.7
	道外	6	66.7	-	16.7	-	16.7	-	66.7
	(再掲)札幌市を除く道央	17	52.9	47.1	-	-	-	-	100.0
業種別(大分類)	製造業	17	58.8	35.3	5.9	-	-	-	94.1
	建設業	21	61.9	23.8	9.5	-	-	4.8	85.7
	卸小売業	6	50.0	16.7	-	-	33.3	-	66.7
	運輸倉庫業	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	情報通信業(IT関連を含む)	12	50.0	33.3	8.3	8.3	-	-	83.3
	情報通信業以外のサービス業	8	62.5	-	25.0	-	-	12.5	62.5
	金融・保険業	13	61.5	38.5	-	-	-	-	100.0
	上記以外・その他	4	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
従業員数別	1~29人	11	54.5	36.4	9.1	-	-	-	90.9
	30~49人	10	60.0	10.0	20.0	10.0	-	-	70.0
	50~99人	25	52.0	32.0	8.0	-	4.0	4.0	84.0
	100~500人	29	58.6	34.5	3.4	-	-	3.4	93.1
	500人以上	6	83.3	-	-	-	16.7	-	83.3

Q2⑦奨学金返済が社会問題になっているという認識があるか

単位(%)

属性		サンプル数	ある	多少ある	あまりない	ない	分からない	無回答	再掲ある
所属団体別	北海道商工会議所連合会	6	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
	札幌商工会議所	15	60.0	20.0	13.3	-	-	6.7	80.0
	北海道中小企業家同友会	13	61.5	-	23.1	7.7	7.7	-	61.5
	北海道建設業協会	14	57.1	35.7	-	-	-	7.1	92.8
	北海道機械工業会	13	61.5	23.1	7.7	-	7.7	-	84.6
	北海道IT推進協会	7	42.9	57.1	-	-	-	-	100.0
	北海道信用金庫協会	13	61.5	38.5	-	-	-	-	100.0
人出不足の状況	不足している	50	56.0	30.0	8.0	2.0	-	4.0	86.0
	現状で良い	25	68.0	24.0	4.0	-	4.0	-	92.0
	余剰がある	-	-	-	-	-	-	-	0.0
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	8	87.5	-	12.5	-	-	-	87.5
	活用を検討したい	30	60.0	33.3	-	3.3	-	3.3	93.3
	あまり活用したくない	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3
	活用しない	2	100.0	-	-	-	-	-	100.0
	どちらとも言えない	37	54.1	29.7	10.8	-	5.4	-	83.8
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	1	-	-	100.0	-	-	-	0.0
	検討したい	29	69.0	20.7	6.9	-	-	3.4	89.7
	難しいと思う	18	50.0	33.3	5.6	5.6	-	5.6	83.3
	分からない	26	50.0	38.5	7.7	-	3.8	-	88.5
	その他	3	100.0	-	-	-	-	-	100.0

Q3①社員の奨学金返済を支援する制度を実施しているか

単位(%)

属性		サンプル数	実施している	実施していない	実施していないが、検討はしている	無回答
全体		81	13.6	77.8	8.6	-
本社所在地別	札幌市	35	11.4	82.9	5.7	-
	札幌市を除く石狩	3	-	66.7	33.3	-
	後志・空知	5	-	80.0	20.0	-
	胆振・日高	9	22.2	77.8	-	-
	道南(渡島・桧山)	4	-	75.0	25.0	-
	道北(上川・留萌・宗谷)	5	40.0	60.0	-	-
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	14	14.3	78.6	7.1	-
	道外	6	16.7	66.7	16.7	-
	(再掲)札幌市を除く道央	17	11.8	76.5	11.8	-
業種別(大分類)	製造業	17	11.8	82.4	5.9	-
	建設業	21	19.0	61.9	19.0	-
	卸小売業	6	33.3	66.7	-	-
	運輸倉庫業	-	-	-	-	-
	情報通信業(IT関連を含む)	12	8.3	83.3	8.3	-
	情報通信業以外のサービス業	8	12.5	87.5	-	-
	金融・保険業	13	7.7	92.3	-	-
	上記以外・その他	4	-	75.0	25.0	-
従業員数別	1~29人	11	9.1	90.9	-	-
	30~49人	10	10.0	70.0	20.0	-
	50~99人	25	16.0	72.0	12.0	-
	100~500人	29	17.2	75.9	6.9	-
	500人以上	6	-	100.0	-	-

Q3①社員の奨学金返済を支援する制度を実施しているか

単位(%)

属性		サンプル数	実施している	実施していない	実施していないが、検討はしている	無回答
所属団体別	北海道商工会議所連合会	6	-	83.3	16.7	-
	札幌商工会議所	15	13.3	80.0	6.7	-
	北海道中小企業家同友会	13	23.1	61.5	15.4	-
	北海道建設業協会	14	21.4	64.3	14.3	-
	北海道機械工業会	13	7.7	84.6	7.7	-
	北海道IT推進協会	7	14.3	85.7	-	-
	北海道信用金庫協会	13	7.7	92.3	-	-
人出不足の状況	不足している	50	12.0	78.0	10.0	-
	現状で良い	25	12.0	84.0	4.0	-
	余剰がある	-	-	-	-	-
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	8	12.5	50.0	37.5	-
	活用を検討したい	30	20.0	76.7	3.3	-
	あまり活用したくない	3	-	100.0	-	-
	活用しない	2	100.0	-	-	-
	どちらとも言えない	37	5.4	86.5	8.1	-
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	1	-	100.0	-	-
	検討したい	29	13.8	79.3	6.9	-
	難しいと思う	18	27.8	66.7	5.6	-
	分からない	26	7.7	84.6	7.7	-
	その他	3	-	66.7	33.3	-

Q4①「奨学金返済支援制度」が実施された場合、活用したいか

単位(%)

属性		サンプル数	活用したい	活用を検討したい	あまり活用したくない	活用しない	どちらとも言えない	無回答	再掲前向き層
全体		367	9.3	30.2	4.9	5.4	48.0	2.2	39.5
本社所在地別	札幌市	159	6.9	34.0	5.0	5.7	45.9	2.5	40.9
	札幌市を除く石狩	15	-	13.3	13.3	-	73.3	-	13.3
	後志・空知	23	17.4	26.1	-	4.3	43.5	8.7	43.5
	胆振・日高	33	12.1	33.3	3.0	9.1	42.4	-	45.4
	道南(渡島・桧山)	18	11.1	33.3	-	11.1	38.9	5.6	44.4
	道北(上川・留萌・宗谷)	43	9.3	30.2	7.0	7.0	46.5	-	39.5
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	58	12.1	27.6	5.2	3.4	50.0	1.7	39.7
	道外	18	11.1	16.7	5.6	-	66.7	-	27.8
	(再掲)札幌市を除く道央	71	11.3	26.8	4.2	5.6	49.3	2.8	38.1
業種別(大分類)	製造業	107	8.4	28.0	8.4	5.6	49.5	-	36.4
	建設業	116	11.2	33.6	3.4	6.9	43.1	1.7	44.8
	卸小売業	26	3.8	30.8	-	3.8	57.7	3.8	34.6
	運輸倉庫業	5	-	20.0	-	-	80.0	-	20.0
	情報通信業(IT関連を含む)	49	12.2	34.7	2.0	4.1	38.8	8.2	46.9
	情報通信業以外のサービス業	32	12.5	25.0	9.4	6.3	43.8	3.1	37.5
	金融・保険業	18	-	16.7	5.6	-	77.8	-	16.7
	上記以外・その他	14	7.1	35.7	-	7.1	50.0	-	42.8
従業員数別	1~29人	120	10.0	25.8	5.8	10.8	45.8	1.7	35.8
	30~49人	70	5.7	30.0	7.1	1.4	52.9	2.9	35.7
	50~99人	81	13.6	35.8	1.2	4.9	40.7	3.7	49.4
	100~500人	73	8.2	32.9	5.5	2.7	49.3	1.4	41.1
	500人以上	23	4.3	26.1	4.3	-	65.2	-	30.4

Q4①「奨学金返済支援制度」が実施された場合、活用したいか

単位(%)

属性		サンプル数	活用したい	活用を検討したい	あまり活用したくない	活用しない	どちらとも言えない	無回答	再掲前向き層
所属団体別	北海道商工会議所連合会	19	-	26.3	-	5.3	57.9	10.5	26.3
	札幌商工会議所	73	8.2	28.8	5.5	6.8	50.7	-	37.0
	北海道中小企業家同友会	30	10.0	40.0	-	3.3	46.7	-	50.0
	北海道建設業協会	81	12.3	32.1	4.9	3.7	44.4	2.5	44.4
	北海道機械工業会	104	9.6	26.9	6.7	6.7	50.0	-	36.5
	北海道IT推進協会	43	11.6	37.2	7.0	4.7	30.2	9.3	48.8
	北海道信用金庫協会	17	-	17.6	-	5.9	76.5	-	17.6
人出不足の状況	不足している	247	12.1	32.8	5.7	4.9	42.5	2.0	44.9
	現状で良い	94	2.1	22.3	4.3	7.4	61.7	2.1	24.4
	余剰がある	2	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	7	71.4	14.3	14.3	-	-	-	85.7
	検討したい	116	15.5	59.5	2.6	-	22.4	-	75.0
	難しいと思う	98	4.1	19.4	12.2	15.3	49.0	-	23.5
	分からない	119	4.2	14.3	0.8	4.2	76.5	-	18.5
	その他	11	9.1	27.3	-	-	63.6	-	36.4
	再掲 前向き層	123	18.7	56.9	3.3	-	21.1	-	75.6

Q4②「奨学金返済支援制度」を活用・検討したい理由(回答の多い順)

単位(%)

属性		サンプル数	自社に就職したいという学生への動機付けになるから	社員の定着につながるから	社員の経済的な負担軽減につながるから	自社のイメージアップにつながるから	他社との採用戦略の差別化につながるから	その他	無回答
全体		145	80.7	64.8	58.6	29.7	28.3	3.4	0.7
本社所在地別	札幌市	65	84.6	70.8	58.5	38.5	32.3	3.1	-
	札幌市を除く石狩	2	100.0	-	-	-	50.0	-	-
	後志・空知	10	70.0	90.0	50.0	40.0	10.0	-	-
	胆振・日高	15	80.0	60.0	60.0	20.0	26.7	-	-
	道南(渡島・松山)	8	100.0	50.0	75.0	12.5	12.5	-	-
	道北(上川・留萌・宗谷)	17	76.5	58.8	35.3	11.8	35.3	11.8	5.9
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	23	69.6	56.5	73.9	26.1	26.1	4.3	-
	道外	5	80.0	60.0	80.0	40.0	20.0	-	-
	(再掲)札幌市を除く道央	27	77.8	66.7	51.9	25.9	22.2	-	-
業種別(大分類)	製造業	39	82.1	69.2	53.8	33.3	28.2	-	-
	建設業	52	82.7	67.3	61.5	25.0	32.7	5.8	-
	卸小売業	9	55.6	77.8	44.4	33.3	22.2	-	-
	運輸倉庫業	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
	情報通信業(IT関連を含む)	23	87.0	56.5	69.6	34.8	39.1	8.7	4.3
	情報通信業以外のサービス業	12	75.0	41.7	41.7	33.3	16.7	-	-
	金融・保険業	3	66.7	33.3	100.0	-	-	-	-
	上記以外・その他	6	83.3	83.3	50.0	33.3	-	-	-
従業員数別	1~29人	43	67.4	65.1	53.5	27.9	18.6	7.0	-
	30~49人	25	88.0	60.0	48.0	32.0	28.0	4.0	-
	50~99人	40	87.5	72.5	60.0	20.0	30.0	-	-
	100~500人	30	80.0	60.0	73.3	43.3	36.7	3.3	3.3
	500人以上	7	100.0	57.1	57.1	28.6	42.9	-	-

Q4②「奨学金返済支援制度」を活用・検討したい理由(回答の多い順)

単位(%)

属性		サンプル数	自社に就職したいという学生への動機付けになるから	社員の定着につながるから	社員の経済的な負担軽減につながるから	自社のイメージアップにつながるから	他社との採用戦略の差別化につながるから	その他	無回答
所属団体別	北海道商工会議所連合会	5	60.0	40.0	40.0	-	40.0	-	-
	札幌商工会議所	27	77.8	74.1	40.7	44.4	29.6	-	-
	北海道中小企業家同友会	15	86.7	80.0	86.7	20.0	26.7	6.7	-
	北海道建設業協会	36	83.3	61.1	61.1	19.4	27.8	5.6	-
	北海道機械工業会	38	78.9	68.4	52.6	34.2	21.1	-	-
	北海道IT推進協会	21	85.7	52.4	66.7	38.1	42.9	9.5	4.8
	北海道信用金庫協会	3	66.7	33.3	100.0	-	-	-	-
人出不足の状況	不足している	111	82.0	65.8	62.2	32.4	29.7	4.5	0.9
	現状で良い	23	73.9	65.2	39.1	21.7	26.1	-	-
	余剰がある	1	-	100.0	-	-	-	-	-
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	6	100.0	83.3	83.3	50.0	50.0	16.7	-
	検討したい	87	82.8	60.9	63.2	31.0	31.0	3.4	-
	難しいと思う	23	82.6	78.3	39.1	30.4	13.0	-	-
	分からない	22	68.2	72.7	54.5	22.7	31.8	-	-
	その他	4	75.0	25.0	50.0	25.0	-	25.0	-
	再掲 前向き層	93	83.9	62.4	64.5	32.3	32.3	4.3	-

Q4⑤「奨学金返済支援制度」の活用について「どちらとも言えない」理由(回答の多い順) 単位(%)

属性		サンプル数	他の社員との公平性を欠く恐れがあるから	社員の定着につながるか不明だから	自社に就職したいという学生への動機付けになるか不明だから	会社の費用負担金額によるから	その他	無回答
全体		176	43.2	42.0	31.8	26.1	17.6	2.3
本社所在地別	札幌市	73	43.8	43.8	31.5	24.7	20.5	1.4
	札幌市を除く石狩	11	63.6	27.3	36.4	9.1	27.3	-
	後志・空知	10	50.0	50.0	10.0	70.0	10.0	-
	胆振・日高	14	35.7	50.0	35.7	21.4	21.4	7.1
	道南(渡島・桧山)	7	57.1	28.6	-	42.9	14.3	-
	道北(上川・留萌・宗谷)	20	30.0	40.0	30.0	20.0	15.0	-
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	29	51.7	44.8	51.7	24.1	6.9	-
	道外	12	16.7	33.3	16.7	25.0	25.0	16.7
	(再掲)札幌市を除く道央	35	48.6	42.9	28.6	31.4	20.0	2.9
業種別(大分類)	製造業	53	50.9	50.9	35.8	28.3	15.1	1.9
	建設業	50	44.0	42.0	36.0	22.0	12.0	-
	卸小売業	15	40.0	60.0	20.0	26.7	6.7	6.7
	運輸倉庫業	4	25.0	-	50.0	50.0	25.0	25.0
	情報通信業(IT関連を含む)	19	21.1	36.8	26.3	21.1	31.6	5.3
	情報通信業以外のサービス業	14	28.6	21.4	35.7	21.4	28.6	-
	金融・保険業	14	64.3	28.6	21.4	35.7	21.4	-
	上記以外・その他	7	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	-
従業員数別	1~29人	55	29.1	45.5	32.7	27.3	14.5	1.8
	30~49人	37	56.8	40.5	27.0	32.4	13.5	-
	50~99人	33	39.4	39.4	33.3	6.1	21.2	3.0
	100~500人	36	55.6	38.9	33.3	41.7	19.4	-
	500人以上	15	40.0	46.7	33.3	13.3	26.7	13.3

Q4⑤「奨学金返済支援制度」の活用について「どちらとも言えない」理由(回答の多い順) 単位(%)

属性		サンプル数	他の社員との公平性を欠く恐れがあるから	社員の定着につながるか不明だから	自社に就職したいという学生への動機付けになるか不明だから	会社の費用負担金額によるから	その他	無回答
所属団体別	北海道商工会議所連合会	11	45.5	36.4	-	36.4	27.3	9.1
	札幌商工会議所	37	27.0	40.5	43.2	27.0	18.9	-
	北海道中小企業家同友会	14	50.0	35.7	28.6	35.7	28.6	-
	北海道建設業協会	36	47.2	47.2	38.9	13.9	11.1	-
	北海道機械工業会	52	48.1	48.1	28.8	30.8	9.6	3.8
	北海道IT推進協会	13	23.1	38.5	30.8	7.7	38.5	7.7
	北海道信用金庫協会	13	69.2	23.1	23.1	38.5	23.1	-
人出不足の状況	不足している	105	44.8	45.7	34.3	30.5	17.1	1.0
	現状で良い	58	46.6	37.9	27.6	24.1	12.1	3.4
	余剰がある	1	100.0	-	100.0	-	-	-
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	-	-	-	-	-	-	-
	検討したい	26	50.0	42.3	30.8	15.4	19.2	3.8
	難しいと思う	48	43.8	39.6	31.3	39.6	12.5	4.2
	分からない	91	42.9	45.1	34.1	24.2	13.2	-
	その他	7	42.9	14.3	14.3	14.3	100.0	-

Q4⑥「奨学金返済支援制度」への寄付に協力できるか

単位(%)

属性		サンプル数	協力したい	検討したい	難しいと思う	分からない	その他	無回答	再掲前向き層
全体		367	1.9	31.6	26.7	32.4	3.0	4.4	33.5
本社所在地別	札幌市	159	0.6	30.2	27.7	34.0	3.8	3.8	30.8
	札幌市を除く石狩	15	-	26.7	13.3	60.0	-	-	26.7
	後志・空知	23	4.3	30.4	34.8	17.4	4.3	8.7	34.7
	胆振・日高	33	6.1	27.3	24.2	36.4	3.0	3.0	33.4
	道南(渡島・桧山)	18	-	27.8	27.8	27.8	-	16.7	27.8
	道北(上川・留萌・宗谷)	43	-	39.5	23.3	30.2	4.7	2.3	39.5
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	58	5.2	39.7	24.1	25.9	1.7	3.4	44.9
	道外	18	-	16.7	38.9	38.9	-	5.6	16.7
	(再掲)札幌市を除く道央	71	4.2	28.2	25.4	35.2	2.8	4.2	32.4
業種別(大分類)	製造業	107	4.7	28.0	32.7	32.7	0.9	0.9	32.7
	建設業	116	1.7	36.2	22.4	32.8	3.4	3.4	37.9
	卸小売業	26	-	15.4	26.9	50.0	-	7.7	15.4
	運輸倉庫業	5	-	40.0	60.0	-	-	-	40.0
	情報通信業(IT関連を含む)	49	-	32.7	20.4	26.5	6.1	14.3	32.7
	情報通信業以外のサービス業	32	-	31.3	25.0	37.5	3.1	3.1	31.3
	金融・保険業	18	-	44.4	27.8	16.7	5.6	5.6	44.4
	上記以外・その他	14	-	28.6	28.6	35.7	7.1	-	28.6
従業員数別	1~29人	120	1.7	22.5	29.2	39.2	5.0	2.5	24.2
	30~49人	70	4.3	28.6	31.4	28.6	2.9	4.3	32.9
	50~99人	81	1.2	42.0	21.0	28.4	1.2	6.2	43.2
	100~500人	73	1.4	38.4	23.3	31.5	1.4	4.1	39.8
	500人以上	23	-	30.4	30.4	26.1	4.3	8.7	30.4

Q4⑥「奨学金返済支援制度」への寄付に協力できるか

単位(%)

属性		サンプル数	協力したい	検討したい	難しいと思う	分からない	その他	無回答	再掲前向き層
所属団体別	北海道商工会議所連合会	19	-	31.6	26.3	31.6	-	10.5	31.6
	札幌商工会議所	73	-	24.7	30.1	43.8	1.4	-	24.7
	北海道中小企業家同友会	30	3.3	33.3	13.3	46.7	3.3	-	36.6
	北海道建設業協会	81	1.2	40.7	21.0	27.2	4.9	4.9	41.9
	北海道機械工業会	104	4.8	26.9	33.7	30.8	1.9	1.9	31.7
	北海道IT推進協会	43	-	30.2	25.6	23.3	4.7	16.3	30.2
	北海道信用金庫協会	17	-	47.1	23.5	17.6	5.9	5.9	47.1
人出不足の状況	不足している	247	2.0	33.6	25.5	31.2	3.2	4.5	35.6
	現状で良い	94	2.1	26.6	31.9	34.0	2.1	3.2	28.7
	余剰がある	2	-	-	-	100.0	-	-	0.0
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	34	14.7	52.9	11.8	14.7	2.9	2.9	67.6
	活用を検討したい	111	0.9	62.2	17.1	15.3	2.7	1.8	63.1
	あまり活用したくない	18	5.6	16.7	66.7	5.6	-	5.6	22.3
	活用しない	20	-	-	75.0	25.0	-	-	0.0
	どちらとも言えない	176	-	14.8	27.3	51.7	4.0	2.3	14.8
	再掲 前向き層	145	4.1	60.0	15.9	15.2	2.8	2.1	64.1

Q5①「北海道で働こう応援会議」を知っているか(回答の多い順)

単位(%)

属性	サンプル数	名前や活動を聞いたことがある	森崎博之さんが登場するテレビCMを見たことがある	森崎博之さんが登場するポスターを見たことがある	ホームページを見たことがある	森崎博之さんが登場するラジオCMを聞いたことがある	その他	知らない	無回答	再掲認知層	
全体	367	24.5	15.0	6.5	5.2	1.6	0.5	54.8	2.5	42.7	
本社所在地別	札幌市	159	27.0	15.1	5.7	3.8	1.9	1.3	56.0	2.5	41.5
	札幌市を除く石狩	15	33.3	6.7	6.7	-	-	-	53.3	-	46.7
	後志・空知	23	26.1	13.0	4.3	21.7	-	-	47.8	-	52.2
	胆振・日高	33	12.1	15.2	6.1	3.0	3.0	-	69.7	-	30.3
	道南(渡島・桧山)	18	27.8	33.3	11.1	5.6	11.1	-	27.8	-	72.2
	道北(上川・留萌・宗谷)	43	30.2	20.9	14.0	4.7	-	-	44.2	2.3	53.5
	道東(オホーツク・帯広・釧路・根室)	58	20.7	10.3	3.4	3.4	-	-	58.6	5.2	36.2
	道外	18	11.1	5.6	5.6	11.1	-	-	66.7	5.6	27.8
	(再掲)札幌市を除く道央	71	21.1	12.7	5.6	8.5	1.4	-	59.2	-	40.8
業種別(大分類)	製造業	107	23.4	18.7	5.6	1.9	2.8	-	56.1	1.9	42.1
	建設業	116	23.3	16.4	7.8	5.2	0.9	0.9	51.7	2.6	45.7
	卸小売業	26	19.2	3.8	3.8	3.8	-	-	73.1	-	26.9
	運輸倉庫業	5	20.0	-	-	-	-	-	80.0	-	20.0
	情報通信業(IT関連を含む)	49	26.5	10.2	8.2	8.2	2.0	2.0	49.0	6.1	44.9
	情報通信業以外のサービス業	32	18.8	12.5	-	-	-	-	71.9	-	28.1
	金融・保険業	18	44.4	22.2	11.1	16.7	-	-	27.8	-	72.2
	上記以外・その他	14	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	-	42.9	7.1	50.0
従業員数別	1~29人	120	20.0	14.2	7.5	4.2	2.5	0.8	60.8	3.3	35.8
	30~49人	70	21.4	11.4	2.9	4.3	-	-	61.4	1.4	37.1
	50~99人	81	27.2	17.3	11.1	6.2	2.5	1.2	45.7	2.5	51.9
	100~500人	73	32.9	17.8	2.7	8.2	1.4	-	47.9	1.4	50.7
	500人以上	23	21.7	13.0	8.7	-	-	-	56.5	4.3	39.1

Q5①「北海道で働こう応援会議」を知っているか(回答の多い順)

単位(%)

属性		サンプル数	名前や活動を聞いたことがある	森崎博之さんが登場するテレビCMを見たことがある	森崎博之さんが登場するポスターを見たことがある	ホームページを見たことがある	森崎博之さんが登場するラジオCMを聞いたことがある	その他	知らない	無回答	再掲 認知層
所属団体別	北海道商工会議所連合会	19	36.8	-	-	5.3	-	-	63.2	-	36.8
	札幌商工会議所	73	20.5	12.3	4.1	1.4	-	-	65.8	-	34.2
	北海道中小企業家同友会	30	23.3	20.0	3.3	10.0	-	3.3	46.7	-	50.0
	北海道建設業協会	81	24.7	14.8	7.4	4.9	1.2	-	51.9	3.7	44.4
	北海道機械工業会	104	17.3	18.3	6.7	1.9	2.9	-	61.5	2.9	35.6
	北海道IT推進協会	43	34.9	9.3	9.3	9.3	2.3	2.3	39.5	7.0	51.2
	北海道信用金庫協会	17	47.1	29.4	17.6	23.5	5.9	-	23.5	-	76.5
人出不足の状況	不足している	247	27.1	14.6	6.5	5.7	2.0	0.8	53.0	2.4	44.5
	現状で良い	94	19.1	14.9	6.4	3.2	1.1	-	59.6	2.1	38.3
	余剰がある	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
奨学金返済支援制度の活用	活用したい	34	20.6	23.5	5.9	8.8	5.9	-	52.9	2.9	44.1
	活用を検討したい	111	34.2	15.3	6.3	2.7	-	0.9	52.3	-	47.7
	あまり活用したくない	18	22.2	22.2	5.6	-	5.6	-	55.6	5.6	38.9
	活用しない	20	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	70.0	5.0	25.0
	どちらとも言えない	176	21.0	13.6	7.4	6.3	1.1	-	55.7	1.7	42.6
	再掲 前向き層	145	31.0	17.2	6.2	4.1	1.4	0.7	52.4	0.7	46.9
事業展開の寄付に協力できるか	協力したい	7	14.3	42.9	-	-	14.3	-	42.9	14.3	42.9
	検討したい	116	36.2	18.1	5.2	6.9	1.7	-	47.4	-	52.6
	難しいと思う	98	21.4	10.2	7.1	3.1	2.0	2.0	62.2	2.0	35.7
	分からない	119	16.8	15.1	5.0	4.2	-	-	61.3	0.8	37.8
	その他	11	27.3	18.2	27.3	9.1	-	-	27.3	9.1	63.6
	再掲 前向き層	123	35.0	19.5	4.9	6.5	2.4	-	47.2	0.8	52.0

「奨学金返済支援」に関するアンケート
(企業向け)
その他の意見・自由回答

2018年9月

「北海道で働こう応援会議」事務局

No.	業種別(詳細)	Q1⑥(人手の現状について その他の回答)
5	情報通信業(IT関連を含む)	特定技術、業務分野において、継続的に求人中
8	情報通信業(IT関連を含む)	事業の動きに応じて過不足感は常に変動
20	サービス業	順次補充していく予定。
26	情報通信業(IT関連を含む)	時期によって不足しており、機会損失となっている。
28	情報通信業(IT関連を含む)	不足はしているが、経営状況との関連性があるため、一概に言えない部分がある。
35	情報通信業(IT関連を含む)	スキルを保持した技術者は不足している。
71	建設業	技術職員について不足感はあるが、明確な不足人数を返答するのは難しい。
76	建設業	若年の技術者、技能者が不足している。
84	建設業	主に不足しているのは、季節雇用の現場作業員
85	建設業	現場技術者・ふつう作業員・大工など全般に不足している。
88	建設業	土木・建築の現場監督技術者が10名程度不足
92	建設業	若手職員が少なくバランスが悪い。将来に不安がある。
104	建設業	国家資格取得者が不足している(1~3人)
109	建設業	30~40代前半の中堅層は不足しているが、55歳以上の高齢層は余剰がある。
115	建設業	現状は良いが、今後定年退職していく。
116	建設業	今後急増する退職者を考えると、今のうちに採用し戦力になるまで育てる準備期間が必要。

No.	業種別(詳細)	Q1⑥(人手の現状について その他の回答)
125	建設業	時期により異なる。繁忙期(8-3月)木らかに現業部門が不足する。
136	建設業	職種に応じて不足あり(技術職)
144	サービス業	現状は人数に問題はないが、定年を社員などを考えると、もう少し採用したほうがいい。
278	卸売業・小売業	現状は充足しているが、先を見据えた中では必要と感じる
345	その他	効率化で対応中
352	農業・林業・漁業	部署による

No.	業種別(詳細)	Q3③(奨学金返済支援制度は社員採用に有効か その他の回答)
86	建設業	学生は奨学金の返済がどれだけ重荷になるのか、学生の間は理解していない。就職して、ありがたみが徐々にわかってくる。

No.	業種別(詳細)	Q4②(「奨学金返済支援事業」を活用したい・活用を検討したい理由 その他の回答)
17	情報通信業(IT関連を含む)	地元の企業で働きたいと思える環境を提供できるため。
41	情報通信業(IT関連を含む)	奨学金利用者は6割を超えるとも聞いています。自社だけでの支援に限りがありますが、社会の仕組みとして必要と考えています。ただし、対象となる学生は学生時代に何らかの努力目標は設定すべきと考えます。
113	建設業	2019年4月の大卒新入社員に対し、月額3万円を5年支援する「奨学金返済支援制度」を策定、会社選択にあたってのインセンティブの1つとしてアピールしている。
131	建設業	やる気のある学生なら来てもらいたいので。
166	建設業	社員の仕事へのモチベーションアップ

No.	業種別(詳細)	Q4④(「奨学金返済支援事業」をあまり活用したくない・活用しない理由 その他の回答)
2	電気機械器具製造業	奨学金は自身の稼ぎから返済していくものと考えているため
86	建設業	既の実施しているから
96	建設業	本人が借りた奨学金を「返済しなければならない」という意識が希薄になるように感じる。学生時代や就職後も自由気ままに暮らして返済しない人々との区別をしっかりとつけていただきたい。現状でも真剣に返済している人は少数ではないかと疑問。
151	建設業	費用がないわけではないが、奨学金は個人の問題で、給与は労働に対する報酬。従って個人的な奨学金に会社が関与する必要はないと考えている。
199	電気機械器具製造業	現在函館高専にてメデック基金を設立しており、この中で対応予定。
263	建設業	支援金について自社での裁量がなくなるから。
279	建設業	職種的に希望者がいない

No.	業種別(詳細)	Q4⑤(「奨学金返済支援事業」の活用について、 どちらも言えない理由 その他の回答)
8	情報通信業(IT関連を含む)	奨学金返済者に限定して道内就職を促進することがリーズナブルかどうか不明
22	情報通信業(IT関連を含む)	苦学生がいること、返済負担が大きい人がいることは理解していますし、支援するのは大賛成です。ただし、すべての学生が同じ状況で奨学金を借りているかは疑問。公平性を求めることは難しいため、会社や自治体がそれぞれで取り組むテーマであると考えます。
28	情報通信業(IT関連を含む)	社内で採用活動と奨学金返済に関する議論がなく、今後の検討議論の課題として定期されているため。
31	情報通信業(IT関連を含む)	親会社の制度との整合性調整のため。
34	情報通信業(IT関連を含む)	当社は新卒採用を北海道で、入社後に東京へ転勤させて仕事を実践させている。北海道に戻りたい社員は東京でスキルを積み、ある一定レベルの条件をクリアすることが必要。北海道で働く者だけを支援することは不公平になるため、北海道本社であること、Uターン実績があることなどで道外勤務者も対象となる別のルールもほしいところ。
55	金融業・保険業	早期退職など定着しなかった場合の措置(支援金の返却など)が難しい。
56	金融業・保険業	家庭の経済事情により奨学金を利用する学生支援を目的とする趣旨には賛同できるが、家庭の経済状況に余力があるにも関わらず借入が可能だったため奨学金を借りた学生も多く、奨学金は貯蓄しているという話も聞く。よって、奨学金を利用していない学生との公平性に疑問を感じる。
60	金融業・保険業	生活に支障がでるような返済負担がどの程度減るかが不明。一定の減額にならないければ社員の定着につながらないのではないかと。
65	建設業	財源が企業負担と寄付という不安定なもので、制度として広く安定運用されるとは考えにくい。また、奨学金制度は制度自体の見直しを含め幅広い議論が必要だが、この制度がどういった位置づけになっていくのか、この制度が見直しの足かせにならないか判断がつかない。
115	建設業	近い将来において、新卒採用予定がないため。
119	建設業	会社で支援していた社員が退職した場合、それまでの支援が無駄になってしまう。
128	建設業	社員の採用に有効な制度だと思いますが、就職希望倍率の高い業種の会社には有効な制度だと思う。支援事業を活用しても、都市部と地方では採用実績に有効差が生じると思う。

No.	業種別(詳細)	Q4⑤(「奨学金返済支援事業」の活用について、 どちらとも言えない理由 その他の回答)
143	サービス業	奨学金を受けている学生の認識が甘過ぎると感じるので、安易に助成をすべきとは思わない
144	サービス業	個人的には検討する価値はあると思うが、詳細次第(特に企業がいくら払うのか)なのと、役員に決定権があるため。
146	食料品・飲食・たばこ・ 飼料製造業	奨学金は各個人の任意手続きのため、支援の必要性が不明である。また、現在返済中の者はどのような扱いにするか不透明である。
154	生産用機械器具製造 業	既に実施しているから
197	金属製品業	大学卒を雇用する予定はない。
201	建設業	当社で検討している内容で進めるなら必要ないため。
210	輸送機械器具製造業	親会社に意向に合わせる必要があり、自社のみでは決められない。
267	電気機械器具製造業	会社が負担するのを感じないが、社会貢献として館があれば悪くはない。
272	鉄鋼業	全社的な対応になるため。
282	卸売業・小売業	基本的に中途採用
305	サービス業	詳細がよくわからないから
309	輸送機械器具製造業	新卒採用は殆どない。
311	不動産業	中途採用が主な為
340	情報通信業(IT関連を 含む)	対象者や支援金額など制度の内容による
344	運輸・倉庫業	2種免許の関係から無理がある

No.	業種別(詳細)	Q4⑤(「奨学金返済支援事業」の活用について、 どちらとも言えない理由 その他の回答)
345	その他	若年者の就職は期待薄
352	農業・林業・漁業	事業概要がもう少し理解できないと判断できない。基本は企業単位。
362	建設業	自社単独で同種の取り組みが可能か検討中
367	木材・木製品・パルプ・ 紙・紙加工品製造業	自社独自の奨学金支援制度がある(福利厚生)

No.	業種別(詳細)	Q4⑥(事業を展開するための「寄付」に協力できるか その他の回答)
17	情報通信業(IT関連を含む)	奨学金支援制度が終わったタイミングで退職する可能性も考えられるため、制度の詳細を確認後、社内で検討する。
34	情報通信業(IT関連を含む)	当社の問題が解消すれば検討する。
56	金融業・保険業	相当の検討が必要と思われる。
65	建設業	現状の情報では協力できない。
71	建設業	「勤務先からの支援」については、該当する新入社員がいた場合には、可能な範囲でご協力したいと考えております。また、「寄付」についてもできる範囲にはなりますが、ご協力可能と考えております。
128	建設業	数年前から求人をしているが、採用に至っていない(志望すらない状態)。活用し、寄付をしても恩恵を得られない。これらの理由から、自社独自の奨学金返済支援制度を実施したほうが費用負担の面からの有効。
134	建設業	2018年4月の改訂の就業規則で、「奨学金返済助成手当」を創設し求人票に明記している。入社後6ヶ月目から10,000円/月額、最高10年間。
143	サービス業	現状の奨学金のシステムを変えないのであれば協力する意味がないと思っています。
210	輸送機械器具製造業	親会社に意向に合わせる必要があり、自社のみでは決められない。
257	その他	当社で働くのであれば考えます。
340	情報通信業(IT関連を含む)	制度内容による

No.	業種別(詳細)	Q5①(「北海道で働こう応援会議」の認知について、 その他の回答)
33	情報通信業(IT関連を含む)	北海道IT推進協会の理事として「北海道で働こう応援会議」の活動に参加しています。
151	建設業	北海道中小企業家同友会で関わっています

No.	業種別(詳細)	Q5 ②(「北海道で働こう応援会議」の活動や提言、意見など 自由回答)
2	電気機械器具製造業	補助や支援制度を充実させることも大事だが、「魅力的な企業」になるように我々経営者が意識を変革し、行動していかななくてはいけないと思っています。そうすれば、必然的に学生が集まってくるのではないのでしょうか。そのため、経営者向けの「魅力的な企業になる」勉強会を継続的に実施するのはいかがでしょうか。
5	情報通信業(IT関連を含む)	「モノ」としての経済支援は良いが、学生目線での「コト」としての充実度合を高めることが更に重要。IT分野において、首都圏との技術情報格差の補完。セミナー等のオンライン受講やテレワークが可能な環境の拡充。
6	情報通信業(IT関連を含む)	道内企業だけの合同説明会を道内主要都市で開催し、学生に道内にも就職先があることを告知する。首都圏と比較した「北海道で働くメリット(給与・生活費・住宅環境・通勤環境)」を道内大学・専門学校のカリキュラ教育の授業内でPRする。
8	情報通信業(IT関連を含む)	北海道が長期的に地力をつけていくことを考えると、全国やグローバルで活躍する人材を作っていくことが必要ではないか。若いうちは全国で活躍してもらい、本人の希望があったときに戻れる仕掛けや、北海道に指向のある若者(日本に限らず)を呼び込む仕掛け作りを強化すべきでは。
14	情報通信業(IT関連を含む)	道内の学生、とりわけ技術系の学生は首都圏での勤務を望むのはやむを得ないと思う。U・I・Jターンに力を入れてほしい。特に首都圏での勤務者に北海道の優位性や生活のしやすさ、北海道の企業の存在等のアピールをしてほしい(地道に取り組む必要があると思う)
16	サービス業	大学生だけではなく、高校生(または中学生)レベルにも理解されるとより良いと思います。
17	情報通信業(IT関連を含む)	学生が北海道の企業を探す際にインターネットでどのキーワードを使って検索し、どこにアクセスしているのか調査してみるのはいかがでしょうか。一度は道外に就職したいと思う学生が多いと思われませんが、数年後に何らかの理由で戻ってくるケースもあります。実際、当社の社員でも地元に戻ってきたいという理由で入社した社員もいます。道外の大学に進む学生もいるので、北海道の魅力のPR、今回の制度を知るための情報サイトやそのサイトへのアクセス方法の周知が重要だと思われまます。
18	情報通信業(IT関連を含む)	住みやすい北海道でやりがいのある仕事をしていただくことをアピールしていただきたい。
33	情報通信業(IT関連を含む)	「北海道で働こう応援会議」のサイトを活用して、道内企業の就職に関する情報を提供し続けることが必要。そのためには、応援会議の参加各団体が積極的に最新情報を提供していくべき。また、学生から道内企業に対するイメージや道外企業に就職を希望する理由など、生の声を聞くイベントやアンケートを実施しても良いと思います。
35	情報通信業(IT関連を含む)	Uターン就職を希望する方に何故希望しているのか、どのような問題があったのか、どうして北海道に戻りたいのか等をヒアリングして結果をまとめて、学生に経験談として広めるのはどうか。

No.	業種別(詳細)	Q5 ②(「北海道で働こう応援会議」の活動や提言、意見など 自由回答)
41	情報通信業(IT関連を含む)	具体的なアクションを起こすワーキングチームの編成を行い、施策ごとに評価軸を設けて色々なことに挑戦してほしい。何のために施策を行うのかを事前に決めて、評価軸を設定すべきで、後付けの評価(評価のための評価)は不要と考えます。評価未達でもよいから、まずは具体的な行動をお願いしたい。
65	建設業	北海道といっても、札幌都市圏と各地方ではそれぞれ抱える問題の質が大きく異なり、画一的な対策では語れない。各地域にあった活動を行ってほしい。進学時に道内地方から札幌に行く学生は、この段階で大学卒業時に道外へ就職することに心理的ハードルが下がっているとも言える。これらの学生を札幌圏にとどめるのか、地元に戻すのか、そもそも札幌圏へ出さないようにするのか、多角的な対策・活動が必要と考える。
68	建設業	北海道は給料が安いという認識が学生に定着している。奨学金支援の取り組みも良いが、多少給料が低くとも、北海道で働くメリット(税や首都圏との生活費の比較)を強くアピールする必要があると思う。
80	建設業	建設業、特に地方の建設会社の採用は大変厳しい状況にあるので、道内のできれば地元の企業に就職したくなるような活動にこれまで以上に取り組んでいただきたくお願いします。
85	建設業	奨学金を借りて、良い学校へ進み、有名企業・大手企業へ就職したい学生が多い中で、地方の中小企業を就職先に選んでもらうことは難しいと考えます。奨学金返済支援事業は、学生に夢と希望を与える良い制度です。市町村を巻き込むなど制度の充実を図り、Uターン、Iターンが増えることで、北海道全体に波及する効果的な事業に発展することを期待します。
96	建設業	道内企業への応援・支援の取り組みは共感しますが、初めに金銭ありきの印象を受ける。「北海道の対人関係、食・住環境の良さ」を周知してほしい。
131	建設業	道でもっと呼びかけキャンペーンを！
143	サービス業	支給額を上げる努力
145	金属製品業	札幌市以外にも良い企業はたくさんあるので、そういったところに気軽に行けるような交通手段があるといいと思う。最低限、1時間に数本の電車やバスがあれば、学生の誘致もしやすいと思う。北海道で働きたい人が道内企業の求人票を見つけやすいような、パネル展示や特集などを、大学やハローワークと連携して作成できれば、多少の効果は見込めるのではないかなと思う。
146	食料品・飲食・たばこ・飼料製造業	「就職した後」のフォローより、「北海道で働きたいが仕事が無い」状況を打破する方が先ではないかなと思う。奨学金に関しても、「就職出来た」者は少なくとも給料から返済できる環境にある訳であり、「奨学金を利用したのにも関わらず就職できなかった」者に対する保護政策を拡充する方が良いと思う。

No.	業種別(詳細)	Q5 ②(「北海道で働こう応援会議」の活動や提言、意見など 自由回答)
150	情報通信業(IT関連を含む)	道外の学生への就職活動の交通費補助
151	建設業	もっともっと学生の道内企業の認知度・好感度アップが必要
152	建設業	道外就職後5年・10年・20年経過した人の心境を聞くアンケートがあれば良いのでは……。
155	卸売業・小売業	企業、道民の応援も結構ですが、奨学金に関しては抜本的な議論が必要かと
161	金属製品業	行政のU・I・Jターン事業のタイアップし、実効性ある施策を実施してほしい
164	建設業	「北海道で働こう応援会議」の取組は、とても意義深いものと思います。ぜひ、3月解禁時期の早い時期に開催していただきたいです。
166	建設業	道内に就職した場合に返済しなくて済む学費の援助
182	鉄鋼業	奨学金返済を議題にするのは良いことだと思います。特に母子・父子・遺児・孤児・生活保護の家庭を優先してあげてください。
187	輸送機械器具製造業	1.奨学金利用、返済状況等の実態把握が必要と考えます。2.他都府県も同等もしくはそれ以上の条件で取り組みしていると魅力がなくなるのではないかと。3.既に入社している社員との不公平感をどう解消していくかなど課題出しと解決策を検討したい。
193	金属製品業	当社のような札幌近郊にある法人は、社員の通勤手段に車両が不可欠ですが、昨今、若者の車取得のニーズが希薄になっていると聞いています。せめて、免許取得の補助等があれば通勤圏が広がり、地元周辺で働く選択肢も増えていくのではないのでしょうか。
194	はん用機械器具製造業	企業が学生に向けて企業アピールをできる環境づくりと学生の集客による活動。
202	生産用機械器具製造業	地方自治体には本州資本の大手企業に迎合する傾向があります。先ずはそのような地方自治体の首長へ働きかけを行っていただきたいのです。本州資本の大手企業に就職しても「北海道」で働いているものの、真の意味で若い労働者たちの「北海道」へも定着は図れません。地場の企業で働くことの素晴らしさを産学官一体となってアピールすべきです。特に室蘭エリアはその傾向が顕著であり、若者の地元離れ、本州企業(北海道に拠点がある法人を含む)への就職の動きが加速し、危機的な状況にあります(人口減も著しい)
216	金属製品業	自社に入社していただける人には、もっと条件等を検討してもよいと思う。

No.	業種別(詳細)	Q5 ②(「北海道で働こう応援会議」の活動や提言、意見など 自由回答)
244	輸送機械器具製造業	社内ヒアリングの意見としては、企業の自助努力によるところが大きいと思います。奨学金支援だけだと結局のところ、賃金ベースが高い企業に就くという手段もあり、有効性が不明です。結局、北海道の魅力(自然、広大な土地の活用、企業進出の支援)を高めることをもって実施する方が就職希望者が増えると思います。
257	その他	奨学金の支援については、1ヶ月どのくらい返済しているかにより、長く勤務していただけるのなら相談による。
262	金属製品業	奨学金総額は大卒で240万、修士卒で360万と仮定し、その20~25%を当社で負担することを想定した。
275	生産用機械器具製造業	新卒採用については道内と道外の賃金格差の話題になることが多いです。この問題は一朝一夕に解決できないところが障害になっています。
284	食料品・飲食・たばこ・飼料製造業	初期負担がかからず、奨学金学生が実際に入社してから対象学生を採用企業が負担すべき。さもないと採用できずにいる企業が不公平であったり、奨学金学生に十分な返済支援ができなくなる恐れがある。
291	不動産業	UIターンも含めた、企業説明会の場の提供を数多くいただけますとありがたいです。
292	サービス業	学生が魅力をもつパートナー企業を増やしていくべきだと思います。

No.	業種別(詳細)	Q5 ②(「北海道で働こう応援会議」の活動や提言、意見など 自由回答)
300	建設業	今後、「北海道で働こう応援会議」の活動内容につきまして、知る機会を持ちたいと思います。当社も折を窺い、奨学金の返済を要する就職希望者を募るといった考えがありましたので。翻って、このようなことに至るに際しては、近代日本がかつて歩んできたことでもあって、再び、新たな潮流となっているとも思われます。
307	情報通信業(IT関連を含む)	東京などのUターン学生などのPRにももっと力を入れていただけるようお願いいたします。
308	建設業	当社では、奨学金返済補助制度があり、毎月の返済額全額を補助するものです。今回の「奨学金返済事業」が活用できる場合は、その補助金額の一部とする予定です。
309	輸送機械器具製造業	有能な若者が、将来に希望が持てるよう、奨学金返済支援制度は、直接的には有用な制度と思われる。その一方で、制度の魅力で集まる人材もいるのではないかと考える。本来、有用な人材は国家の財産であり、その育成は公費でもよいと考える。また、本質的には、若者が魅力を感じる企業を、北海道に育てることが重要でないかと思う。直接的なとり組みと同時に、中長期の課題とも取組を強化すべきと考えます。
311	不動産業	大企業(一部上場)の本社の積極的誘致活動。
314	物品賃貸業	道内企業を選択した学生へのインタビューを広報していただきたい。
321	情報通信業(IT関連を含む)	地元志向の学生を集めた、合同企業説明会などの無料実施。
325	物品賃貸業	北海道の会社は中小企業が多いので、給料が安く、福利厚生は大きな会社より落ちるとは思いますが、地元でいたい若者にアピール出来れば良いとは思いますが、でも、なかなか良いアイデアは浮かびません。すみません。
345	その他	学生でなくとも「理解力の豊かな地頭の良い」人(再就職希望者、元気な高齢者、可)で信頼の置ける人を発掘できる仕組みを構築してほしい。人物がしっかりしているのであれば、専門の資格取得費用の会社負担や関係知識の教育に投資することを厭わない方針である。根底には知識人=学生との構図はほぼ成り立たないと実感しているからです。
352	農業・林業・漁業	基本的には民間主体で取り組む事業だと思ふ。とりわけ、企業単位での創意工夫が求められるのでは。ただし、奨学金返済支援という取り組み自体は評価する。企業がそこに充てる経費については全額損金を認めるか、それ以上の税制のメリットを与えられれば良いと思ふ。
356	金属製品業	奨学金返済支援事業は活用を検討したいが、道外支店等をどのように扱うか検討が必要。
367	木材・木製品・パルプ・紙・紙加工品製造業	少子化なのになぜ就職難なのかを考え、経済の低成長の中、企業自体の体力をつけることが必要だと思ふ。